

コレクションづくりの実際

明定義人（滋賀県高月町立図書館）

- 0 はじめに いろいろな図書館がある あくびをさせる図書館  
「金太郎飴」みたいな図書館ばかり、って本当？
- 1 図書館の「棚」が物語ること。
  - 1 - 1 それは「利用者」と「本」と「図書館員」の関係。
  - 1 - 2 利用者を否定する「本」と「図書館員」 159 人生論はどうか？
  - 1 - 3 「ねばならない」「こうすべきだ」「どうしてああなのだ」世界の本
  - 1 - 4 批判はあるが「代案」「対案」のない非現実的論議とバーチャルな世界
- 2 「たのしい」×「わかる」
- 3 「利用者」「図書館員」×「たのしい」「たのしくない」
- 4 選書論について 価値論と要求論から
  - 4 - 1 『こうすれば利用がふえる』（日図研）は「欲求・欲望」開放系。
  - 4 - 2 利用者の「欲求・欲望」をどう展開するのか。
  - 4 - 3 利用者の「欲求・欲望」と「選書をする図書館員の私」
- 5 「知的好奇心」あるいは「好奇心」を促す。
  - 5 - 1 「本の世界」をどう見せるのか
  - 5 - 2 予想（仮説）をたてて、実験をする セブンイレブンの発注
  - 5 - 3 利用者の「欲求・欲望」を促すために「棚」はある
- 6 「バラエティに富んだ書架の表情」＝「本の世界の見せ方」
  - 6 - 1 戦略的選書＋配架・分類
  - 6 - 2 「へえーこんな本もあるのか」本
- 7 おわりに 「たのしい貸出」に向けて